

平成26年第3回 向日市障害者計画策定委員会 議事要点録

○日時 平成27年3月26日(木) 午前10時から正午まで

○場所 向日市福祉会館 大会議室

○出席者 (委員)

拾井雅人委員(委員長)、高畑龍一委員(副委員長)、岡崎洋委員、濱田純子委員、
稲葉伊佐子委員、石井恵委員、井上大委員、植田進委員、田邊幸子委員、
岡庭信二委員、前川明美委員、長藤登委員、桶谷美幸委員、植田茂委員

(事務局)

障がい者支援課：鈴木次長、林課長、鹿島課長補佐、福田主査

○議事

- 1 パブリックコメントの結果
- 2 第4期向日市障がい福祉計画最終案
- 3 第2次向日市障害者計画の進捗状況
- 4 第3期向日市障がい福祉計画の進捗状況について

○内容

議事1 パブリックコメントの結果について

(要点)

- ・これまでの委員会でご審議いただいて完成した計画素案についてのパブリックコメントで寄せられたご意見と市の考え方について説明を行った。
- ・パブリックコメントでは、5人の方から21件のご意見があった。内容は「要約筆記者の派遣範囲を広げてほしい」「地域活動支援センターを無料で利用したい」など、趣旨が要望に関する事項であり、計画案の修正は行わなかった。

(主な意見)

- ・特に意見はなかった。

議事2 第4期向日市障がい福祉計画最終案について

(要点)

- ・第4期障がい福祉計画の最終案は、前回の会議の後、事務局で再度点検し、読みやすい文章になるよう、若干の修正を加えたものである。
- ・主な修正の内容は、地域生活支援拠点の平成29年度の目標値について、乙訓圏域1か所としていたが、国からの情報が少ないことに加えて京都府の障害福祉計画においても目標値

を設定していないといった状況から、「検討」という表記に改めたことである。

- ・最終案について、前回からの主な修正点を中心に説明を行い、承認された。

(主な意見)

- ・地域生活拠点の記載方法が変更になったが、後ろ向きにならないように望んでほしい。
- ・自立支援協議会との連携とあるが、どのようなことを議論しているのか。
- ・緊急時対応については計画に記載しないのか。
- ・短期入所の受け皿の確保についてどう考えているのか。見込み量を実現できるのか。
- ・計画相談支援は順調に進んでいるのか。

議事3 第2次向日市障害者計画の進捗状況について

(要点)

- ・第2次向日市障害者計画に掲げる各事業の取り組み状況について、「啓発・広報」「相談・情報提供」など主な施策の各項目の進捗状況について説明を行った。
- ・主な取り組みの内容としては「乙訓障がい者基幹支援相談センター」の設置や、障害者優先調達推進法に基づく調達方針を公表したことなどである。

(主な意見)

- ・支援学校卒業後の進路として就労継続支援B型を利用する場合は、就労移行アセスメントが必要だが、周知をしてほしい。
- ・精神障害の相談員を制度化してほしい。また、精神通院は医療費の対象だが通常の診療は医療費の対象とならない。そのことも病院の窓口で理解しておられなかった。

議事4 第3期向日市障がい福祉計画の進捗状況について

(要点)

- ・第3期向日市障がい福祉計画の進捗状況について、障がい福祉サービス及び地域生活支援事業のサービス量などについて計画と実績を比較するなどして、説明を行った。
- ・主な内容としては、同行援護については概ね計画どおり、重度訪問介護は計画を上回り、居宅介護、行動援護は計画を下回る結果であったことや、手話通訳者派遣事業は概ね計画どおりであったことなどである。

(主な意見)

- ・居宅介護の実績が25年度から26年度にかけて減っているのは何故か。
- ・就労継続支援B型の利用は今後も増えると思われる。また、工賃アップについては進んでいるのか。